

環境インフラ海外展開プラットフォーム (JPRSI)

国際競争入札タスクフォース

2022年7月8日
JPRSI総会

金子 篤

国際競争入札タスクフォース設置の背景

- 環境インフラの海外展開にあたり、海外事業実績や国際競争入札の経験を有する本邦企業であっても、国際競争入札における手続やルールへの理解が十分でないこと等により、そのプロセスの途中でつまずき受注に至らないケース等も多く見受けられる。
- JPRSIの活動の一つとして、国際競争入札に臨む本邦企業が有する課題の特定や対応力の強化を目的とした「国際競争入札タスクフォース」を立ち上げ、活動を開始。

勉強会の開催

- 2021年11月～2022年3月までに4回の勉強会を開催し、国際競争入札の各段階（入札公告前、公告後、契約交渉・締結、案件実施中およびその後）における本邦企業の成功・失敗事例を共有しながら課題を洗い出し、抽出された課題に対する対応策案について議論を実施。

国際競争入札での課題とその対応策



抽出された国際競争入札での課題

- ① 情報収集
入札準備に有益な情報の入手が困難
- ② 営業力
機会を十分に生かせていない
- ③ 提案力
スペックインへの障害
- ④ コントラクトマネジメント
リスクを見込んだ価格
- ⑤ 発注側とのコミュニケーション
入札図書のあいまいさが解消されない

議論のポイント、対応策の検討の一例

- ① 有益な情報とは？進捗状況に応じた情報収集？
- ② 誰に対して何を売り込むのか
- ③ 上流から関与？COIは？
- ④ リスク⇔チャンス、契約変更
- ⑤ リスク⇔チャンス、特に制約はない？最終的に利益がでるのか？中長期にわたる関与